

令和4年8月25日(木)

令和4年度 第1回学校関係者評価委員会 報告

- 1 日 時 令和4年6月9日(水) 14:00～15:00
- 2 場 所 本校視聴覚室
- 3 出席者 学校関係者評価委員6名(1名欠席), 本校職員19名

4 内容

- (1) 開会の言葉
- (2) 校長あいさつ
- (3) 委員紹介
- (4) 本年度学校経営方針

本校の使命

多様な生徒を受け入れ、自尊感情(自己肯定感や自己効力感, 自己有用感)を育み、社会人として自立できるよう支援する学校

方策

- 1 きめ細やかな教科指導を通して、基礎学力の定着と向上を図る。
 - 2 丁寧で根気強い生活指導等を通して、基本的な生活習慣を身に付けさせるとともに、規範意識をもたせる。
 - 3 学校生活全体を通して、自己の在り方や生き方を考えさせるとともに、将来の目標をもたせ、その実現を図らせる。
- (5) 学校概況説明と本年度の目標(各課程10分ずつ)
 - (6) 学校評価アンケート結果報告(通信制 昨年度の生徒分)
 - (7) 質疑・意見交換

ア 福永委員

- ・ 資料p9「進路状況」の「その他」の内訳を教えてください。
- 進路希望調査の回答が未回答であった場合は「その他」としてカウントしている。家事手伝いの場合や、調査時に進路決定に心が向かない場合も「その他」としている。

イ 久保田委員

- ・ 成人年齢が18歳に引き下げられ、様々な不安を抱える子供に親としてどのようにアドバイスしたらよいか。
- 授業やHR等を通じて折に触れ話をしている。特に契約のことや消費者のこと、選挙のことについては一人で抱え込まず必ず親に相談するように、子供に声かけをしていただきたい。

ウ 関山委員

- ・ 通信制のニーズが増えてきている。
- ・ 定時制の時間に縛られない避難訓練の取り組みがとてもいいと思った。
- ・ 通信制で取り入れられているUDのノウハウをぜひとりまとめて、県内の中学校や高校の先生に広めていただきたい。
- ・ 生徒指導のUD化を進めて欲しい。現在もUDに根ざした生徒指導をしていると思うので、ぜひそのノウハウについても他の学校の先生方に伝えていただきたい。

エ 草野さん

- ・ 様々な生徒を受け入れていただき本当に感謝している。資料 p 3 の重点目標「人権同和教育の推進」はUDに根ざしたものであると考えられ、大変素晴らしいと思う。このような取り組みが進路の実績にもつながっているのではないか。

オ 久永委員

- ・ 今回このような会に初めて参加して、様々な活動があることを知った。生徒だけでなく親も、このようなきどうしたらよいかという困り感を持っているので、ぜひいろいろな相談にのっていただきたい。

カ 立山委員

- ・ 生徒たちに寄り添った指導が全課程でなされていると感じた。
- ・ 定時制の授業終了時刻が 20:50 である。夜間は犯罪の発生率が上がり、悪質さも増している。南署管内の公然わいせつの前兆事案は 77 件中 33 件と多いため、特に若年層の生徒さんには注意喚起していただきたい。

(8) 閉会の言葉